

教員名

川合 宏之

企画名

「ビジネスコンペ2020」発表(神戸ベンチャー研究会)

地域活性化型

自治体・国
学校(教育機関)



左から、授業サポートの様子、授業サポートの様子、「ビジネスコンペ2020」発表の様子

企画・活動概要

「ビジネスコンペ2020」(神戸ベンチャー研究会)にて、兵庫県猪名川町の活性化策を提案する。川合ゼミでは、兵庫県立猪名川高等学校との連携で、高校生と兵庫県猪名川町の活性化を検討してきた。今年で2年目を迎える。

プロジェクト期間: 2020年9月3日~2020年12月26日

高校における授業サポート: 2020年9月3日、9月10日、9月17日、11月19日(22名が参加)

「ビジネスコンペ2020」発表: 2020年12月26日(3名が発表)



経緯・背景・目的

経緯・背景

2019年度から、兵庫県立猪名川高等学校(2019年3月、高大連携協定を締結)からの依頼で、高校生の授業のサポートを行ってきた。この授業は、高校生たちが「あなたが猪名川町長だったら」をテーマに、提案を考えていくもの。例年であれば、この授業でまとめた提案は、猪名川町長などが審査員を務める【猪名川町の未来を描く高校生フォーラム】で発表することになっている。しかし、コロナ禍の今年はフォーラムが中止。高校生チームは11月19日に校内で発表を行った。

目的

大学生チームは、①来年度以降の授業サポートに生かしていくため、②提案内容をブラッシュアップしていくために、「ビジネスコンペ2020」に応募する。



取り組む課題

兵庫県猪名川町の活性化策を提案する。
高校生・大学生の視点から、猪名川町の現状をふまえ、どのような工夫や改善が必要なのかを考え、実行可能な計画策定と運営方式を提案すること。



地図: Map-It マップイット(c)

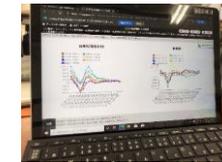
本学(学生)の役割

1.兵庫県立猪名川高等学校での活動

- ・大学で学んだ知識を生かして、高校生を発表までサポートする。
- ・地域経済分析システム(RESAS)のデータの見方や分析におけるポイントなど、高校生が気づかないところを客観的な視点でアドバイスする。

2.「ビジネスコンペ2020」発表に向けての活動

- ・兵庫県猪名川町の課題や原因について分析を行う。
- ・「ビジネスコンペ2020」において発表する。



RESASによる分析

活動結果・成果・学生が成長した点・学生が身につけた能力

活動結果・成果

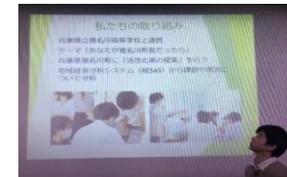
「ビジネスコンペ2020」において、50チームの応募があり、9チームに選出された。学生の提案の中で、猪名川町の課題がよく検証されていた点について高い評価を受けた。今後、猪名川町の活性化に向けてさらなる検討をすることとなった。

学生の成長

課題を特定し、解決に向けた提案を裏付ける情報収集、論理的な企画構成、主体性や協調性、目標達成能力、プレゼン能力が身についたことが推察される。



授業サポートの様子



「ビジネスコンペ2020」発表の様子

指導教員および関係者の紹介



商学部
経営学科
准教授 川合宏之

<専門分野>

- ・高等学校商業教育
- ・高大接続・連携



参加学生22名(川合ゼミ)